

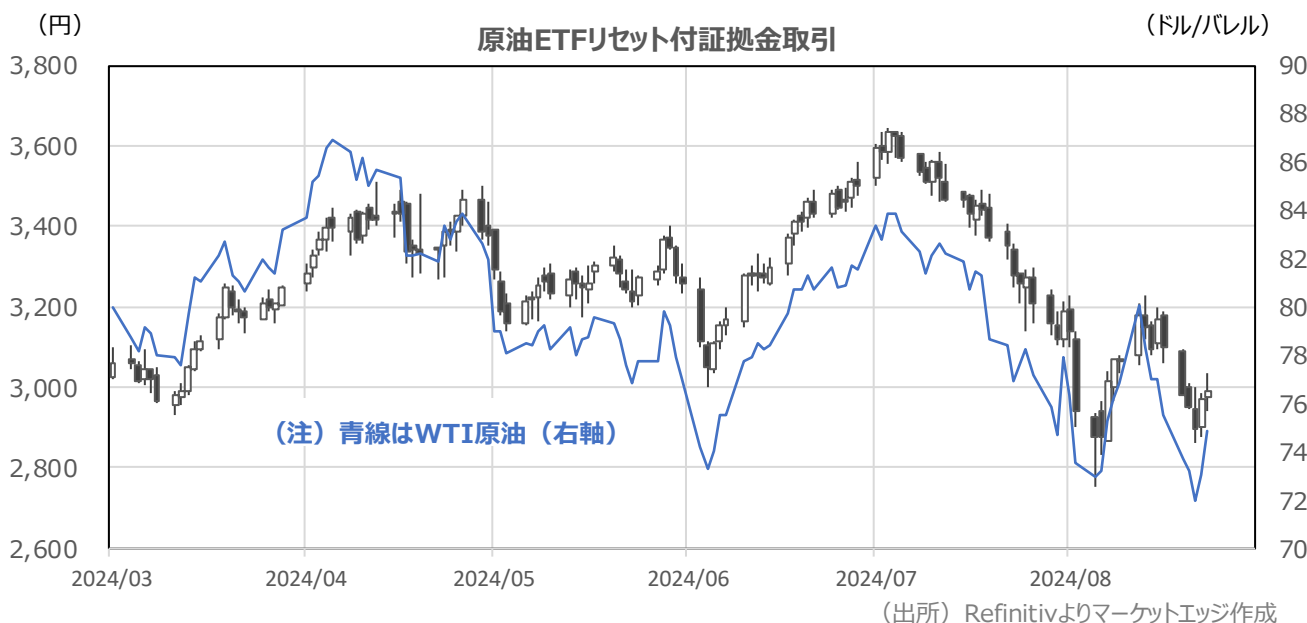
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/08/26号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



需要不安で安値更新も、週後半は修正高に

NY原油先物相場は、1バレル=71.46ドルまで下落して2月5日以来の安値を更新した後、74ドル台後半まで切り返す展開になった。根強い需要不安を背景とした値下がりが続き、上値の重さを再確認している。特に目新しい売買材料は見当たらなかったが、中国の石油需要環境に対して根強い警戒感がみられた。米利下げ観測から米金利低下・ドル安が進んだこと、米原油在庫の取り崩しが進んでいることはポジティブだが、あまり材料視されなかった。ただし、8月12日高値80.16ドルから急ピッチな値下がりが続く中、週後半は安値修正の動きが優勢になった。

中東情勢に関しては、原油相場に対する影響は限定されている。イスラエルとハマスの停戦に向けて関係国の調整が進んでいるが、ガザ地区南部のエジプトとの境界地帯からのイスラエル軍の撤退について合意が得られておらず、先行き不透明感が強い。停戦合意が近いとの報告も聞かれるが、高いレベルの先行き不透明感が維持されている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月16日時点）は、原油が前週465万バレル減、ガソリンが161万バレル増、石油精製品が331万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

根強い需要不安で戻り売り優勢、中国リスクの影響大きい

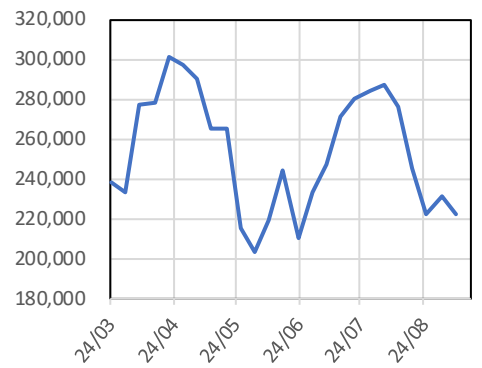
根強い需要不安から戻り売り優勢の展開が続く見通し。7月と8月に発表された中国経済指標は、同国経済が急減速している可能性を示している。既に中国の原油輸入量、原油処理量は前年同月比マイナスとなっているが、夏の行楽シーズン終了後は更に需要環境が悪化すると警戒感が強い。焦点は9月入りしてから発表される中国の各種経済指標だが、8月末にかけては戻り売り優勢の展開が続く可能性が高い。

70ドル割れに対しては抵抗感も見られる。石油輸出国機構(OPEC) プラスは最近の原油安を静観しているが、これ以上の安値になると10月から予定されている減産縮小計画の見直しを巡る議論も活発化しよう。米シェールオイル生産環境へのダメージも警戒され、70ドル割れの可能性は排除できないものの、そこから一気に値を崩す環境にもないだろう。

米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ開始時期が迫っている。マーケットの関心は、米経済ではなく中国経済の減速懸念のため、金利低下圧力の直接的な影響は限定される見通し。ただし、ドル安圧力はドル建て原油相場に対する影響が大きいため、更にドル安が進むと需給評価と関係なく買いが膨らむ可能性には注意が求められる。

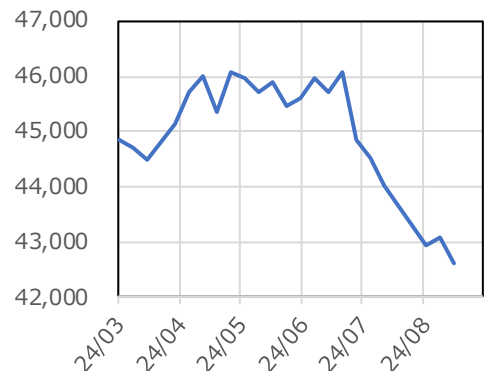
中東情勢に関しては予見可能性が乏しい状況が続くが、イスラエルとハマスの停戦合意期待を高めるような動きがみられると、地政学リスクの軽減評価から売り圧力が強まる可能性は想定しておきたい。現状だと、イランがイスラエルに対して報復攻撃に踏み切る可能性は低下しており、地政学リスクは中立もしくは売り材料との評価になる見通し。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



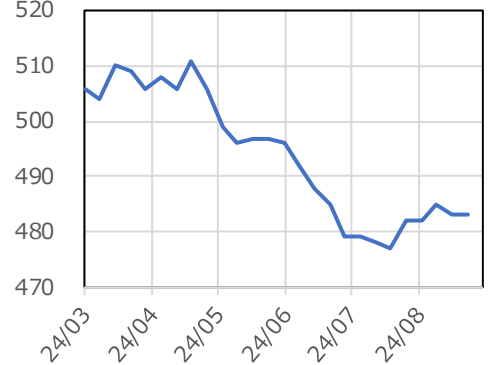
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレーム)をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

